

昆虫はかせネットワーク 公開シンポジウム

昆虫採集をかんがえる

～地域との共生を目指して～

マナーを欠いた一部の採集者や悪質な業者の存在により、新潟県内の各地で厳しい採集規制が始まっています。迷惑を顧みない採集と規制による負のスパイラルは、新潟県の昆虫文化を失わせつつあります。昆虫文化を守るため、マナー啓発や注意喚起、そしてその取り組みを周知していく必要があります。本シンポジウムは、持続的に楽しく昆虫採集を続けられるよう、昆虫採集の意義をアピールして地域との共存を模索するとともに、採集者のマナー徹底を呼び掛けるものです。

開催日	2023年 12月9日(土)
時間	14:00～17:30 (開場 13:30)
会場	長岡市中央図書館大講堂 (新潟県長岡市学校町1-2-2)
参加費	無料 (予約も不要です)

基調講演

『昆虫採集のススメ ～保護も、博士も、教育も、採集なしでは始まらない』



塘 忠顕 教授
(福島大学 共生システム理工学類)

1967年生まれ。博士(理学)。専門は昆虫の比較形態学、地域の昆虫相・カニムシ相、福島県レッドリスト・レッドデータ改訂調査の昆虫部会長。地域の環境教育、環境保全に貢献。

プログラム

14:00-14:20	開会挨拶
14:20-15:20	基調講演
15:20-15:30	休憩
15:30-16:10	事例報告 (3題)
16:10-16:30	休憩
16:30-17:30	パネルディスカッション

事例報告① 『ルールを守って昆虫採集 ～新潟県内における昆虫採集の法令制限～』

須藤弘之 (日本自然環境専門学校)

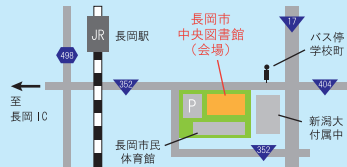
事例報告② 『放置昆虫採集トラップ回収大作戦～昆虫はかせネットワークの採集マナー啓発』

鈴木誠治 (昆虫はかせネットワーク代表)

事例報告③ 『中山間地域での昆虫養殖 ～地域資源を利用するための地域住民との関わり～』

高木良輔 (十日町市地域おこし協力隊)

▲各演者はパネルディスカッションのパネリストとして登壇します▲



関越自動車道「長岡IC」から車で約30分
JR長岡駅東口から越後交通バスで約10分
JR長岡駅東口から徒歩で約20分



「昆虫はかせネットワーク」とは

新潟にムシ好きを増やし、未来の昆虫博士を育て、昆虫研究を盛り上げていこうという団体です。昆虫観察会などのイベントを開催したり、勉強会や出版物作成をおこなっています。詳しくは konchuhakaseto.com/ または左のQRコードからアクセス。シンポジウム会場にお越しになれない方はZoomからも参加できます。Zoom参加をご希望の方は、昆虫はかせネットワーク公式サイトからお問い合わせください。



長岡市未来を創る
市民活動応援補助金

主催：昆虫はかせネットワーク
後援：越佐昆虫同好会、新潟県、新潟市、長岡市教育委員会、日本自然環境専門学校
本シンポジウムは「長岡市未来を創る市民活動応援補助金」の助成をうけて開催するものです。